



令和2年度第2回広島市教科用図書採択審議会会議録

署名者

長谷川 洋 

会議録調整者

佐々木 沙智 

令和2年7月10日午後1時00分 令和2年度第2回教科用図書採択審議会を広島市教育センター2階第4研修室において開催した。

1 開会及び閉会に関する事項

開会 午後1時00分

閉会 午後4時30分

2 出席委員

会 長 長谷川 洋

委 員 大槻 隆子

委 員 望月 慶輔

委 員 小林 綾子

委 員 小田 啓史

委 員 今村 綾子

委 員 藤田 智行

委 員 三原 正弘

委 員 山田 浩之

副 会 長 角崎 真由美

委 員 面崎 敬子

委 員 斎藤 謙介

委 員 西村 加奈子

委 員 水津 直樹

委 員 堀 未奈

委 員 中田 浩二

委 員 渡辺 智恵

3 事務局の出席者

松浦 泰博 指導第二課長

土居 達司 指導第二課長補佐

与座 淳 指導第二課指導主事

佐々木 沙智 指導第二課指導主事

吉本 剛 指導第二課指導主事

山中 晴詞 指導第二課指導主事

伊木 勇介 指導第二課指導主事

4 議事日程

(1) 教育長挨拶

(2) 採択審議会委員の紹介

(3) 会長、副会長選出

(4) 諮問

(5) 教科用図書採択制度及び本市の教科用図書採択についての説明

(6) 議事

- ・ 調査・研究の観点について

(7) 諸連絡

5 議事の概要

○ 事務局

開会に先立ちまして、一言申し上げます。現在、本採択審議会の皆様、17名全員ご出席いただいておりますので、3分の2以上の出席ということになりますので、本採択審議会は成立することになります。

本日本配りしております、資料等について確認をさせていただきます。まず、資料の1、資料の2というホッチキスで止めてある冊子があると思います。それから、A4のペーパーで、審議時間の目安という表があると思います。本日は、国語と社会の審議になりますが、これから3回分の審議の内容について示しておりますので、参考にしてください。それから、学習指導要領も置いております。また、教科書についてですが、基本的には、隣の方とお二人で1セット見ていただける形で置かせていただいております。最初は国語の方になりますので、より手前の方に置いておりますので、終わりましたら次の審議のものを手前に置いていただくということで、御協力いただけたらと思います。

それでは、令和2年度広島市教科用図書採択審議会を開催いたします。

○ 事務局

議事に入る前に、前回の会議録の確認をします。資料1の10ページを御覧ください。このことについては、会長に内容を確認の上、了承をいただいております。しばらく時間をとりますので、特にご自身の発言などを中心に、内容の確認をお願いできればと思います。

(会議録の確認)

○ 事務局

それでは、議事について、会長、副会長に進めていただきたいと思います。長谷川会長、よろしくお願いいたします。

○ 会長

はい。それでは、皆さんこんにちは。本日は、国語科、それから社会科の2教科6種目について審議をいたします。たくさんの教科書を審議することになりますが、先ほどお配りした審議時間の目安を参考にさせていただきながらも、必要な審議はしっかりと時間をかけ、適正に審議を進めるように努めてまいりますので、御協力よろしくお願いいたします。また、充実した会にしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、配布資料1、2ページにありますとおり審議を進めていきたいと思います。まず、教科用図書の調査・研究の経緯と本日の審議について、事務局から説明いただきます。

○ 事務局

はい。それでは、令和3年度使用広島市立中学校用教科用図書の調査・研究の経緯及び本日の審議の進め方について説明いたします。

(別紙資料により説明)

○ 会長

ありがとうございました。ただいまの説明について、質問はございませんか。

(質問なし)

○ 会長

それでは、審議に入りたいと思います。先ほど事務局から説明がありましたように、国語から1種目ごとに教科書の調査・研究報告を調査員の代表からしていただきます。委員の皆様から質問がございましたら、出していただき、報告について確認した後、審議していくこととなります。それでは、よろしくお願いいたします。

(国語の調査員代表者入室)

○ 会長

それでは、国語の調査員から国語の教科書の調査・研究について、報告をお願いします。

我々は、教科書を手に取り、調査・研究の報告書を見て、報告を聞くこととなりますので、委員の皆様、よろしくお願いいたします。

○ 調査員代表

(調査報告)

○ 会長

丁寧に調査いただき、ありがとうございました。それでは、それぞれの委員の皆様からご質問等を受けたいと思います。限られた時間ではありますけれども、質問があれば、しっかりと聞いていただければと思います。なかなか、自分からというのは難しいでしょうから、こちらから伺ってみたいと思います。いかがでしょうか。

○ 委員

とても丁寧に調査していただいている、わかりやすかったです。本市の課題に対してどれだけの手立てが活用できるかということも非常にわかりやすかったです。ただ、どうしても、今まで使っていた教科書のイメージがあるので、それぞれの教科書をじっくり見ないと、報告書を読みながら特徴を掴むというのは、少し難しいと感じました。また、それぞれの教科書の内容が膨大なので、良い特徴がたくさんあったとしても、実際の授業では、うまく活用しきれないとか、それに時間をかけられないという実態もあるので、そういった部分の兼ね合いも難しいと感じています。こうしたことを踏まえて、より良い教科書をどう選んでいけばよいかということですが、各者の特徴に目移りしている状況です。

○ 会長

代表の方に伺いますが、第1回目の審議会で、委員の皆様から、観点2「主体的に学習に取り組む工夫」と観点5「言語活動の充実」の2つの観点が、有機的に結び付くと、観点1の「基礎・基本の定着」につながるのではないかという御意見をいただき、私たちもこれらの観点を特に重点的に調査していただくということをお願いしたところでした。そういったことを受けて、しっかりと調査していただいた結果が、この調査・研究の報告書にある○(マル)のところに書いてあるということで、よろしいでしょうか。

○ 調査代表

はい。そのとおりです。

○ 会長

そうすると、特徴があるものについては、書き方がしっかりとしていて分量もあるということになりますね。それと、確認ですが、記載されている特徴は、横並びのものは大体同じような内容ということによいですか。

○ 調査代表

そうです。横並びで見ると、特徴は同じ内容、質のものでそろえています。

○ 会長

ありがとうございます。ということは、確認としてお話ししますが、例えば報告書の3ページの視点①を見てみると、一つ目のマルでは、左の東京書籍からいくと、「教材ごとに『読書案内』として本を紹介している」となっていて、三省堂は「教材ごとに『私の本棚』で本を紹介している」といったように、読書に関することが書いてある、ということになります。

したがって、先ほど話に出た観点や視点を、限られた時間の中でもわかるように、分量や特徴として示してあるということになります。そのほか、御質問いかがでしょうか。

○ 委員

はい。わかる範囲で教えていただきたいのですが、国語科では、特に本市の生徒たちの課題になっていますのが、目的に応じて必要な情報を取り出すことと、わかりやすく相手に伝えることに課題が見られるということですが、こういったことというのは、ただ知識を学ぶだけでなく、実際に生徒がそれをやってみる、訓練するということが大切だと思っています。調査では、こういう種類がありますよ、こういうやり方がありますよといった、知識の部分はすごくしっかりしていると思われるのですが、実際に知識を自分のものにするのか、訓練に持っていくのか、そういう視点がどのくらいあるのか、資料だけではわからなかったもので、印象でも構いませんので、もし何かあれば教えていただければと思います。

○ 調査代表

はい。国語の各領域の力は、言語活動を通じて身に付けていくということが中心になってくると思います。したがって、いろいろな知識を、どのように効果的な言語活動を使って、本物の力にしていくかということが大事なのかなと思います。そういう視点で見っていくと、観点5にあるような言語活動をどの程度取り入れているのかということが、重要な視点になろうかと思っています。言語活動例ですとか、どのような言語活動をさせようとしているか、国語では視点①にも言語活動に関するものがありましたが、量的なものであったり、質的なものであったり、そういうところが重要な視点になるかとは思いますが。

○ 委員

ありがとうございました。そういう意味では、調査員の立場からは言いにくいかもしれませんが、この4つの発行者で特に特徴的なところがあるのでしょうか。

○ 会長

調査員の方の考えということではなく、報告書の中の特徴的な部分ということですよ。

○ 委員

はい。難しいとは思いますが。どの発行者がいいというのではなくて、課題に対応して、特にこういった特徴があるとか、そういうところが分かればと思ったのですが。

言語活動をより促すような工夫がされているといえば、例えば、直接関係するのは観点5のところなのかもしれないですが、先ほど視点①にも言語活動が関係しているとおっしゃったように、たぶん（言語活動は）全部に関係していると思っています。ですから、総合的に見て、言語活動をより内在化させるというような見方でいくと、この教科書は他者とは違う特徴がありますよとか、ちょっと他の教科書とは違いますよということが、もし分かればありがたいのですが。もし、この場で言えるような特徴がないのであれば、結構です。

○ 調査代表

今の御質問でいうと、視点⑤の「問題解決的な学習を実施するための工夫」というところには、言語活動の充実とか、あるいは情報の扱い方とかですね、そういったものが色々出やすいように思います。どの教科書に特徴があるかと言われると、立場上申し上げることは難しいので控えさせていただきます。

○ 会長

確認ですが、今のでいいますと、5ページの視点⑤の1番上の○のところの表現がそれにあたるということでしょうか。

○ 調査代表

そうですね、視点⑤の中にも示しておりますし、例えば、今回の学習指導要領の改訂で「情報の扱い方」や「読書」に関することが指導事項として取り上げられていますので、国語の力を付けるといった点では、視点①も非常に重要な視点だと思います。

○ 会長

ありがとうございました。その他、いかがでしょうか。

○ 委員

よろしいですか。とても特徴がわかりやすく、教科書の違いというのも少し理解できた気がしますけれど、一つお伺いしたいのは、まず全体的な項目としては、各者それほど大きな違いはないと思うのですが、その一方で、先ほどお話にもありましたけれど、かなり密度が違っているのではないかと思います。先ほど見せていただいた箇所でも、ある教科書は非常に細かく書いてあって、別のものはかなり空間をゆったりと使っていて、それが観点2ですとか観点5とか、記述にもかなり反映されているのではないかと思います。こういう質問は答えにくいかもしれませんが、教科書にかなり丁寧に細かく書いてあるものと、そうでないもの。教える側として、あるいは広島市の課題として、どちらが望ましいのでしょうか。どのように考えるのがいいでしょうか。

○ 調査代表

そうですね。いろいろな捉え方があると思うのですが、例えば設問数が少ない場合、ただ少ないのではなく、教科書会社の方が、考えに考え抜いた、これを広げていけばいい授業ができるというような発問かも知れません。逆に、たくさんある場合は、いろいろな生徒の

特性に応じて、選択肢は広がるという風に思います。例えば、特徴が一つだけのものは、それをどう料理していくかというのが教員の力なのだと思いますが、今は、いろいろな特性の子どもがいますので、選択肢の中から、子どもたちが興味を示したものを使うという考え方もできるので、特徴が多いと幅広い選択ができるとも言えますので、一概にどちらが良いかとは言えないと思います。

○ 委員

わかりました。ありがとうございました。

○ 会長

他の方はいかがですか。

○ 委員

よろしいですか。観点5の言語活動の充実についてですが、全ての教科書が同じようなことを書かれていると思うのですが、実際にここに書かれていることというのは、授業の中で実践できるものなののでしょうか。その辺り、しっかり時間を取れてできるものなのかというところが知りたいなと思いました。

○ 会長

ありがとうございました。

○ 調査代表

すみません。前半の部分がちょっとよく聞き取れなかったのですが、もう一度お願いできますか。

○ 委員

はい。観点5のところ、それぞれの発行者、言語活動例というのが示されていると思うのですが、その示されている言語活動例について、実際に授業でやる際に時間がしっかり取れるのだろうかということと、どういう形でそれを進めていくのだろうかということをお教えいただければと思います。

○ 調査代表

分かりました。たしか先ほども、どなたか時間的なことを言われたと思うのですが、要はそれぞれの言語活動を、言語活動として独立して扱うのか、指導の流れとして扱うのかで、扱う時間や扱い方が変わってくると思います。基本的には、教材と言語活動を関連させながら扱う場合が多いと思いますので、言語活動だけを独立させて考えるのではなく、教材とうまく関連付けながら扱うことで、時間の問題も解決できると思っています。

○ 会長

ありがとうございました。それでは、質問は、このあたりでよろしいでしょうか。

(頷き)

○ 会長

国語の調査員の代表の方、ありがとうございました。どうぞ御退席ください。
(調査員代表者退出)

○ 会長

それでは、本市の実態や生徒の状況に即した教科書として、ふさわしいものはどれか審議し、その後に、「よりふさわしい」及び「ふさわしい」教科書を決めようと思います。審議にあたりましては、本市の実態や生徒の状況に即してまとめていただいたこの報告書を参考に、全ての教科書の特徴を比較して、本市の生徒の課題に対応する特徴がある教科書を決めるということによろしいでしょうか。

(賛同の頷き)

○ 会長

なお、委員の皆様の見解がまとまらない場合には、挙手によって決めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(賛同の頷き)

○ 会長

ありがとうございます。それでは、先ほどの報告を基に、委員の皆様からの御意見をいただきたいと思っております。いかがでしょうか。

○ 委員

はい。本市の生徒の課題というところで、自分の考えを明らかにして根拠を示すことは意識できていても、複数の文章や資料から目的に応じて必要な情報を取り出すことや、相手意識をもってわかりやすく相手に伝えることに課題が見られるというところがあります。したがって、まずは書くことで、自分の思考とかそういうものをきちんと把握した上で、スピーチなどで表現するのであれば、観点1のところのポイントとなってくると思います。そういう意味で、情報に関する教材、例えば、思考のレッスンであるとか、情報整理のレッスンなど、そういうものがしっかり示されているというのは非常に魅力的だなという風に感じました。もちろん、どの教科書にも情報の扱いに関するものはあるのですが、段階を追ってまとめてあるというのは、子どもたちにとってわかりやすいし、理解しやすいのだろうと考えています。

また、振り返りのところも、それぞれの教科書で、振り返りのキーワードを示しているなどの特徴もあるので、そういったところが、最終的に言語活動の深いところにつながるのかなという風に思っています。

○ 会長

ありがとうございます。その他いかがですか。

○ 副会長

よろしいでしょうか。先ほど、別の委員からもありましたが、言語活動のアイテムと申しますか、そういったものについては、4者ともかなりの数のアイテムを紹介していると思います。しかし、実際にそれを授業の中で全てできるのだろうかということを、先ほども御質

問があったのではないかと思うのですが、このアイテムについては、扱っているものが各者それぞれ違う中で、国語科だけではなく、様々な教科で広く使えるようなアイテムを絞り込んで紹介してあるという意味では、東京書籍、三省堂、光村図書出版が、各学年に沿った必要な言語活動が紹介されているのかなと思いました。

それから、教科書会社の姿勢とってよいのか分かりませんが、そうしたものがよく表れていると思ったのが、第2学年の「走れメロス」のところですが、5ページの観点2の視点⑤になりますが、この中で光村図書出版だけが、教材の最後に対話的な学習を促していくために、7つの観点を示し、教員が、その中から、子どもたちの求めるものに応じたものを選択しながら言語活動に広げていくという幅をもたせています。先ほどの調査代表の方からもありましたが、このように幅を持たせているあたりが、非常に魅力的でよいと思います。特に、この「走れメロス」という教材は、大変長く使われてきている教材ですので、我々からしても、非常に特徴がよくわかっているの、光村図書出版の姿勢というのは、指導する側としてはありがたいと思っています。

○ 会長

ありがとうございました。その他いかがですか。

○ 委員

よろしいですか。今、視点⑤にあります「走れメロス」のところの光村図書出版の特徴というのが、非常に魅力的だという話だったのですが、その一つ上の視点に「振り返り」というのがあります。観点2、視点④のところなのですが、光村図書出版に関しては、過去に学習した教材を取り上げ、自分の意見をまとめていくところが、先ほど別の委員もおっしゃったところなのですが、他の教科書にはない特徴なのかなというように思いました。過去に学習したということは、自分が既に学習したということで、自分とのつながりはもう既にある教材ということですね。それを題材として「振り返り」をさせるところは、光村図書出版の大きな特徴の一つではないかという風に見させていただきました。

○ 会長

ありがとうございました。その他、ございませんか。
(賛同の頷き)

○ 会長

それでは、色々御意見が出ましたが、出た御意見をまとめると、光村図書出版の、「走れメロス」のところでありませうか、あるいは振り返りのところなどは、「相手意識を持って、分かりやすく伝えることに課題が見られる」という本市生徒の課題に対応していると考えられます。また、新しい学習指導要領の中で示された情報の扱いについては、3ページにあります、光村図書出版が、情報整理のレッスン、思考のレッスンなどの活動を設けているというのは、他者にはない特徴だと考えられます。また、調査員代表の方からも報告がありましたが、5ページの視点③になると思いますが、語彙の定着といった辺りでは、東京書籍が、「広がる言葉」を設け、教材に出てくる言葉を扱うとともに、巻末の「言葉を広げよう」で、更にそれに関連する言葉を掲載しています。こうした特徴は、「多様な表現に言い換えるなど、語彙の定着に課題が見られる」という本市生徒の課題に対応しているように思います。こうしたことから、光村図書出版の教科書をよりふさわしい、それから、東京書籍の教科書をふ

さわしいと考えるとの意見を付して、答申しようと思いますが、いかがでしょうか。

(賛同の頷き)

○ 会長

皆さんの賛同が得られたようですので、国語については、これで答申したいと思います。その他、答申に付すべき意見がありますでしょうか。

(意見なし)

○ 会長

それでは、その他に付すべき意見は特にないということですので、いただいた意見をもとに答申を作成してまいりたいと思います。この答申の作成につきましては、会長と、副会長に一任していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」)

○ 会長

ありがとうございました。それでは、その他の種目についても、同様にしっかり審議していきますので、よろしく願います。

では、続いて、書写の報告をお願いします。

(書写の調査員代表者入室)

○ 会長

それでは、続いて書写の研究報告をお願いいたします。

○ 調査員代表

(調査報告)

○ 会長

ありがとうございました。それでは、書写の調査研究報告書につきまして、何か御質問はありますか。

(質問なし)

○ 会長

それでは、調査員代表の方、どうぞご退室ください。ありがとうございました。

(調査員代表者退出)

○ 会長

それでは、審議に入ります。皆さんから、御意見等をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○ 委員

よろしいですか。先ほどの調査員代表の報告によると、本市の課題に対しては、4つの出版社、いずれも対応できているのかなと思いました。その中でも、特徴的なところでいえば、光村図書出版は、例えば、切り離し可能な書写ブックを設け、書写で学習したことを生かし

て書くことができるなど、特徴的な部分が多いと思いました。

○ 会長

ありがとうございました。その他いかがでしょうか。

○ 委員

はい。主体的に学習に取り組むというところかというと、やはり、子どもたちが学習したことを日常に生かしてほしいところではありますが、実際には、手紙を書くなど、今の子どもたちにはなかなか身近ではない部分もあると思います。こうした中で、この光村図書出版は、入学願書の志望理由書とか、そういったものが掲載してあり、身近に感じられると思います。教科書でいうと、116ページのところになるのですが。

○ 会長

何ページですか。

○ 委員

光村図書出版の116ページに志望理由書があります。(広島県の公立高校の志望理由書なので) ぐーっと身近すぎる感じはするのですが、子どもたちが、正しい字、良い字を書く目的といえばよいのでしょうか、学習する内容とその目的がしっかりと結びついていくと同時に、こうしたところから、主体的に学習に取り組む意欲というのは、湧いてくるのではないかと思います。あとは、基礎基本の定着にも関わると思うのですが、運筆については、小学校の時からやっていると思うのですが、やはり、東京書籍や光村図書出版のように擬音語があるというのは、字を書くことが難しい子どもたちにとっては、力加減がわかりやすいので、指導のヒントになるので良いと思います。

それと、本筋からは少し外れるかもしれないのですが、教科書の大きさというのが、実は非常に気になっています。生徒の学習する机は、大きさも限られていて、B5サイズでもなかなか難しい状況がある中、B5よりさらに大きめのものになっていると、そのサイズが実用的かどうかというところがあると思います。教科書にあるタイトルが意外と大きかったりするので、些末なことかもしれないのですが、指導する側としては、こうした部分が気になります。

○ 会長

ありがとうございました。その他、審議に関わって、何かございますか。
(質問、意見なし)

○ 会長

ないようですね。それでは、調査報告と皆さんからの御意見等を踏まえると、例えば、この学習した内容を日常生活に生かすといった辺りは、重要な視点だと思いますが、そういう意味では、先ほども意見が出された光村図書出版は、『国語』や『学校生活』などを設け、本の帯など、書写で学習したことを生かせるようにしているなど、特徴があるように思いました。それから、調査報告でいきますと、他教科、あるいは日常生活との関連という点では、東京書籍も、教科関連マークを付しているなど、特徴があるように思いました。こうした意見や特徴を総合的にまとめると、光村図書出版をよりふさわしい、それから東京書籍をふさ

わしいとして答申するということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」)

○ 会長

それでは、皆様の賛同が得られたようです。その他、答申として付すべき意見はありますか。

(意見なし)

○ 会長

意見は特になしということで、よろしいですね。それでは、書写の答申作成について、先ほどの国語と同様、会長、副会長に一任していただくということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」)

○ 会長

それでは、続いて、次の社会科、地理的分野の報告をお願いします。

(社会科 地理的分野の調査員代表者入室)

○ 会長

それでは、社会科、地理的分野の報告をお願いしたいと思います。委員の皆さんは、先ほどと同様、教科書を見ながら報告を聞いてください。よろしく願いいたします。

○ 調査員代表

(調査報告)

○ 会長

ありがとうございました。地理的分野について、丁寧に調査研究していただきました。内容について何かご質問はございますか。

(質問なし)

○ 会長

よろしいですかね。それでは、どうもありがとうございました。調査員の代表の方は、ご退室をお願いします。

(調査員代表者退出)

○ 会長

それでは、大変丁寧に調査していただいております。教科書をご覧になり、皆さん御意見いかがでしょうか。

○ 委員

はい。よろしいですか。本市の課題にあったように、社会科、地理的分野のポイントとしては、資料を有効に活用して事象を説明する、論述する、更には、それを踏まえて、探究していくことだと思うのですが、報告にもあったように、それぞれの教科書で色々工夫されていると思いました。その中でも、東京書籍は、シンキングツールを使って考えるよう

にしていたり、「みんなでチャレンジ」を設け、いわゆる対話的な学びを設定したりしていて、本市の課題に即しているのかなと思いました。また、学習の最後の「まとめ」のところを比較すると、この見た目が学習にも影響すると思うのですが、4者の中で、帝国書院と東京書籍は、2ページにわたってしっかり探究していて、充実していると思いました。

○ 会長

ありがとうございました。皆さんの御意見を聞いた後で、またお気づきがあればお願いします。その他、いかがですか。

○ 委員

はい。どれも非常にビジュアルでわかりやすくきれい、甲乙つけがたいところだと思います。その中でも、報告でお伝えいただきましたように、東京書籍がかなり丁寧で、チャート式の参考資料みたいなものもいろいろとあり、細かくわかりやすいという印象ですが、これが良いのか悪いのかというのは、先生方の考えによってだいぶ違うのではないかという印象を持ちました。

○ 会長

ありがとうございました。その他いかがですか。

○ 委員

はい。地理的分野で一番の課題が、ここでいうと、教科書の中で得た知識や地図などの資料を活用し、自分の考えを説明する際の意味づけ、裏付けに使ったり、また、それを実際に使って、自分の意見を述べたりできるかということが大きな課題だということです。東京書籍につきましては、今見ているページが、こうした課題に対応するような、自分で要望を書いたり説明をしたりするときに、事実などで理由付けし、結論に結び付く、導くという構成になっています。これが、今見ているページがたまたまそうなのか、それとも他のところもそうなっているのか、まだちょっとわからないのですが、おそらく、東京書籍のこのような特徴は、生徒たちにとって、どのように理由付けをして、結論につなげるのか、そういう道筋を示していくのに、非常に有効なのではないかと思いました。そういう点で、東京書籍に関しては、他の教科書にはない特徴が非常に多かったという印象です。

○ 会長

ありがとうございました。教科を超えて、専門的なところで話しにくいという部分もあるかもしれませんが、遠慮なく、印象など、感じたことを言っていただければと思います。皆さんいかがですか。

ただ今、お二人の委員から、自分の解釈を加えて論述するとか、意見交換するというのが課題で、こうした課題に対応しているかどうかのポイントになるということでした。この点で、まとめのところなど、東京書籍の特徴が評価できるのではないかというような話が出ましたが、その他いかがですか。

○ 委員

よろしいですか。今話に出た学習のまとめの部分でいえば、例えば、日本文教出版は、まとめのところ非常に小さいので、このように小さいと、教員が頑張ってやらなくてはいい

ないので大変だと思います。やはり、先ほども言いましたように、まとめてページをしっかりと割いているような者がよいと思います。

○ 会長

わかりました。ありがとうございます。それでは、丁寧にご説明もいただきましたけれども、また皆さんの御意見を踏まえまして、本市の課題、特に、論述や意見交換するという言語活動の充実について対応しているという意味で、よりふさわしいのが東京書籍、ふさわしいということであれば、視点③の興味・関心を持たせる工夫ですとか、振り返りといったところでも報告がありました。帝国書院がふさわしいという風に考えられると思いますが、皆さんいかがでしょうか。

(「異議なし」)

○ 会長

よろしいですか。その他、答申として付すべき意見はいかがですか。

(意見なし)

○ 会長

それでは、先ほどの2者を答申することにしたと思います。続いて、歴史的分野の報告をお願いします。

(歴史的分野の調査員代表者入室)

○ 会長

はい。ありがとうございました。続いて、歴史的分野につきまして報告をお願いしたいと思います。

○ 調査員代表

(調査報告)

○ 会長

7者にわたって調査報告ありがとうございました。それでは、この内容につきまして、御質問があればお願いします。いかがでしょうか。

○ 副会長

すみません。よろしいですか。先ほど26ページにある言語活動の充実について、学習のまとめと表現のところですが、東京書籍と帝国書院は、ページを紹介していただいて比較ができたのですが、教育出版について、比較できるページがあれば教えていただけるとありがたいです。

○ 調査員代表

教育出版の教科書を、ということですね。東京書籍と帝国書院の方はよろしいですか。

○ 副会長

はい。中項目の最後にまとめの学習をするところです。

○ 調査員代表

わかりました。教育出版の30ページを見ていただくと、2節という中項目がありますが、その下に問いがあります。日本の成り立ちと和の王権というところの下の部分に、小さい文字で、「日本列島ではどのような歴史を辿って国家が形作られていったのだろう」というのがありますが、これが中項目の問いです。それに対して、まとめのところということですよ。

○ 副会長

はい。

○ 調査員代表

56ページ、57ページが、その該当ページになります。ここに、学習のまとめはしてあるのですが、いわゆる表現活動とか、そういったものが掲載されていないということでございます。

○ 副会長

はい。わかりました。ありがとうございました。

○ 会長

その他いかがでしょうか。

○ 委員

よろしいですか。26ページの東京書籍のところに、Xチャートやマトリックスなどの思考ツールという風に書いてあります。東京書籍の特徴として、恐らく思考ツールを多用しているということが非常に大きな特徴ではないかと思うのですけれども、他者の教科書はこういった思考ツールというものは、そんなに見られないということでよろしいでしょうか。

○ 調査員代表

今聞かれたのは、東京書籍の26ページですか。

○ 委員

いえ、東京書籍の26ページではなくて、この資料の26ページです。

○ 調査員代表

失礼しました。そうです。今ご指摘の箇所については、東京書籍の大きな特色になっています。

○ 委員

わかりました。ありがとうございます。

○ 会長

大変広範囲にわたる調査研究ですから、質問の箇所を探すのも大変ですね。

その他いかがでしょうか。

(質問なし)

○ 会長

よろしいですね。それでは、ありがとうございました。どうぞご退室ください。
(調査員代表者退出)

○ 会長

審議の時間も長くなっております。この歴史的分野の審議が終わりましたら、少し休憩を取らせていただこうと思いますので、よろしくお願いします。

審議の前に、確認を一つさせていただきたいと思います。私が、最初にご案内しておけばよかったのですが、質問や意見を言うていただく際に、「〇〇者のことについては、〇〇という風を書いてあるのですが」という形で、発行者の名前を言うていただくと、皆さんわかりやすいと思いますので、ご協力をお願いいたします。それでは、いかがでしょうか。丁寧に全者にわたって調査いただいております。ご意見をお願いします。

○ 委員

はい。よろしいですか。先ほどの報告にあった内容が全てかなとは思いますが、例えば、今、山川出版と教育出版の教科書を開いているのですが、時代の特色をまとめるところに関しては、両者とも表現活動がないわけではないのですが、「どんな時代だったか説明しましょう」という段階で止まっているように思います。「様々な見方で見てみる」という段階までは、両者ともいってないと思いました。先ほどの報告にあったように、東京書籍や帝国書院は、いろいろな特色を、いろいろに見るといふか、社会科ではよく「多面的・多角的」という表現を用いるのですが、こうした見方をできるように工夫していると思いました。

○ 会長

ありがとうございました。今、委員が言われたように、多面的・多角的に考察するというのも、本市の課題ということで、視点の中に挙がっていたと思います。そういった課題に対応するときに、調査報告にもありましたように、東京書籍や帝国書院の記述を見ると、他者よりしっかりと特徴があるということになりますね。

はい、その他どうでしょうか。

○ 委員

はい。先ほどからXチャートのこととか、思考ツールのことが話題に出ていますけど、私は、子どもたちが自分で考えるというのがすごく大事ななと思っています。そういった意味で、東京書籍は、こうした考え方を学べるようなものになっているなと思います。最近ロジカルシンキングという言葉が耳にしますが、まさに、それを社会科で学び、考えることで、それを身に付けることもできて、非常にいいなと思いました。

○ 会長

ありがとうございました。その他どうでしょうか。

○ 委員

はい。地理の時もそう思ったのですが、東京書籍は、目的に向かって、きっちり道筋を立ててそれぞれ考えさせるようになっていて、まとめのところを見ると、それが一番よく出ているなと思っています。実際、これがすべての章であるので、全部やるのは結構大変なので

はないかなというのちよつと思いますが、子どもたちが一つ一つ進めていけば、たぶんどんどんペースも上がって行って、考える力も身についていくのではないのかなということなので、繰り返しできるというところは良いのではないかなと思います。

○ 会長

ありがとうございました。その他いかがでしょうか。

○ 委員

はい。今の調査報告の中にありましたけれども、東京書籍、教育出版、帝国書院が、やはり、先ほど言っていたことを踏まえると、非常にわかりやすく、主体的に学ぶことができるように作られているという風に思います。その中でも、東京書籍が、まとめの部分を見せていただくと、他者と比べてもいいのではないかなと思いました。あとは、山川出版は、昔ながらの教科書というような感じがして非常に懐かしいと思いました。私は、こういうのも好きなのですが、生徒が主体的に学ぶというような意味では、少し物足りないのかもしれない。

○ 会長

はい。ありがとうございました。いろいろと御意見いただきましたけれども、こうした状況を見ますと、本市の課題に対応しているという点でいきますと、東京書籍の教科書については、3つの観点、あるいは9つある視点いずれも課題に対応しているということで、本市にとってよりふさわしい教科書として答申してよいでしょうか。それから、ご意見はいろいろと出ておりますけど、例えば、帝国書院でいきますと、多面的・多角的な考察ができるというところを含めていきますと、教育出版もよいまとめ方ではありますけれども、帝国書院の方がやや優れているという風に思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」)

○ 会長

よろしいですか。それでは、東京書籍をよりふさわしい、帝国書院をふさわしいとして答申したいと思えます。その他意見として付すべきことはありますか。

(意見なし)

○ 会長

はい。それでは、少し、時間配分等も悪かったかもしれませんが、一旦ここで休憩にしたいと思えます。

(休憩)

○ 会長

はい。それでは皆さんおそろいのようなので、再開したいと思います。次は、公民的分野です。どうぞよろしくをお願いします。

(公民的分野の調査員代表者入室)

○ 会長

それでは、続いて公民的分野です。報告をよろしくをお願いします。

- 調査員代表
(調査報告)

- 会長

ありがとうございました。6者の教科書について調査報告していただきました。内容についてご質問ございますか。

よろしいですかね。はい、それではご丁寧にありがとうございました。ご退室ください。
(調査員代表者退出)

- 会長

はい。それでは先ほど報告のありました件について審議を行いたいと思います。それでは委員の皆さんから御意見をいただきたいと思います。他教科の方も遠慮なくいただければと思います。

- 委員

よろしいですか。ここまで、歴史、地理、公民ときたわけですが、3分野あって、教科書は1冊ですが、学年が違ったり分野が違ったりしても、一貫性があつた方がいいかなと思います。子どもたちからすると、教科書の見方にしてもそうですし、最後の振り返りとかもそうですが、地理の分野にしても、歴史の分野にしても、公民の分野にしても、一貫性があつた方が学びやすいという風に思います。特に、東京書籍は、広島市の課題であつたり、多角的に考えられるような工夫があつたりします。「みんなでチャレンジ」が設けてあるとか、やはりこれからはグループ活動が大切になってくると思いますので、そのあたりで他者と比較すると、充実しているという風に感じています。

- 会長

ありがとうございました。その他、いかがですか。

- 委員

はい。教科書のつくりでいうと、東京書籍と帝国書院は、言語活動の部分や、主体的に学ぶという部分で、歴史や地理と同じような感じになっていると思います。最後に、代表の方から説明もありましたけど、東京書籍の導入とまとめのところで、最初に考えたことと最後に考えることを比較できるようにしているところは、子どもの思考を揺さぶったりとか、成長を感じさせたり、自分自身が学んだなという実感を持たせたりすることにもつながるような感じがしました。そういった言語活動の充実という点では、充実した教科書だなという風に思いました。

- 会長

はい。ありがとうございました。色々意見が出ましたが、その他いかがでしょうか。

- 委員

はい。よろしいですか。最初に言われた本市の課題で、課題解決に向け、事実を多面的に、多角的に考察するための方策みたいなものは、各教科書、問題解決的な学習にするための工夫は、いろいろ工夫されているのではないかと思います。先ほども別の委員が言われたよう

に、発展的に学習を深めるとか、振り返るとか、知識を更に深化させるという意味では、グループ活動とか言語活動とかが大切で、それを通じて深められる教科書の方が望ましいのかなと思います。そういう意味では、先ほど皆さんおっしゃったように、東京書籍や帝国書院のような、最後に振り返るとかまとめるなどの、そういうことが設定されている方が子どもたちの思考が深まるのかなと思いました。

○ 会長

ありがとうございました。その他いかがでしょうか。

○ 副会長

少しよろしいでしょうか。まとめ方というところでは、一つ気になるのが、東京書籍は、まとめのところが、ただの空欄になっているのですが、帝国書院も同じような学習の流れになっていて、発展的な学習をした上で最後のまとめをしますが、帝国書院はまとめが虫食いになっているのですね。何と云えばいいのでしょうか、先ほどの歴史もそうだったのですが、例えば、64ページを見ていただくと、最後のステップ3のところ、虫食いの記述になっていますよね。すべてまとめがこういう風になっていると、補助教材っぽいところがあると思うのです。そういう意味で、少し残念ではありますが、指導とか学習の流れとしてはいいと思います。だけど、少し気になりました。

○ 会長

ありがとうございます。それでは、色々具体的な意見が出ましたけども、その他ご意見はありませんか。

○ 委員

よろしいですか。今のご指摘は私も気になりまして、こういう形の虫食い型というのでしょうか、定型の答えを求めているような形式というのは、何か正しい答えがあるのではないかという印象を生徒に与えてしまうのではないかと思います。いろいろな考え方、多面的・多角的な形が出てきていいと思うのですが、虫食い形式だと、そういうものを阻害するとは言いませんが、何かこう、正しい答えを常に見つけようとするような、そういう形になってしまうというのが少し残念だなという風には思いました。ですが、まとめの在り方としては、他の教科書よりも、こういうまとめがあるというのは指導の手立てにはなると思います。

○ 会長

ありがとうございました。それでは、いろいろと御意見いただきましたが、いただいた意見等をまとめますと、例えば、観点2、③の視点あたりとか、④、⑤の視点あたりでいきますと、東京書籍、帝国書院等の特徴的なところがあがっていたと思います。それから、4番目の観点ですね、内容の表記というところであれば、これは「みんなでチャレンジ」や、広島のことを取り上げてあるとか、あるいは5番目の言語活動の充実という意味では、先ほど報告の中で出ましたが、SDGsのアジェンダ等があるとか、あるいは教科関連マーク等があるということ、スクールラボなどもあります。こうした御意見等をまとめますと、本市のよりふさわしいということでいけば東京書籍、それからふさわしいのが帝国書院ということで答申をするということよろしいでしょうか。

(「異議なし」)

- 会長
それでは、皆様のご賛同をいただきましたので、そのようにしたいと思います。付す意見もなしということでもいいですかね。
(意見なし)
- 会長
はい。ご協力ありがとうございます。続いて、地図にいきたいと思います。
(地図の調査員代表者入室)
- 会長
社会科は、4つも分野があり、本当に調査ありがとうございます。最後の地図になりました。それでは、調査研究の報告、よろしくお願いします。
- 調査員代表
(調査報告)
- 会長
はい。ありがとうございました。地図につきましたの報告ですけれども、内容につきました何かご質問がありますでしょうか。地図の場合は2者ですね。
- 委員
すみません、基本的なことを質問させていただいてよろしいでしょうか。この地図なのですが、他の、公民とか地理とか歴史とか、こうしたものと一緒に併用するという理解でよろしいのでしょうか。
- 調査員代表
そうですね。地図については、裏側を見ていただいたらですね、帝国書院の方には3学年分名前を書くようになっております。ですから、地理、歴史、公民、いずれの分野においても、これを横において学習するという風な形になっております。
- 委員
ありがとうございます。
- 会長
その他ございませんか。よろしいですか。それでは、審議の方に入りますので、どうぞご退室ください。ありがとうございました。
(調査員代表者退出)
- 会長
それでは、地図につきました、審議したいと思います。皆さん、御意見を伺いたと思います。いかがでしょうか。

○ 委員

よろしいですか。先ほどご質問にあったように、社会科の教員としては、他の種目と併用して使うものという感覚です。ですので、先ほど言ったように、いかに探究していくときに有用かどうか、というような視点で使っています。そういう意味では、先ほど、帝国書院の同緯度のところに日本があるというのが話にあったと思うのですが、ああいうのが使いやすいですね。例えば、授業していく中で、課題設定をするとか、深める学習の時に、非常に有用であるという風に思いました。ただ、サイズがA4判になってしまったので、以前よりちょっと大きくなったのですけれど、他の教科書は大体この大きさ（A4判）が多いので、A4判でちょっと今までとサイズが違うのが、大丈夫かなというのが心配なくらいです。まあ、見やすくていいという考えもあると思います。

○ 会長

まとめていただいておりますが、基礎基本の定着にとっては、扱いやすい、というのもあるということですかね。ありがとうございました。さて、その他いかがでしょうか。

○ 委員

東京書籍もとてもよくできていると思うのです。それと、他の地理、公民、歴史の教科書のことを考えると、東京書籍との連携というのを考えれば、東京書籍の方がかなりよいと思うのですが、利点という点でいうと、帝国書院の方が圧倒的に見やすいです。かなり見た印象が違います。いろいろと細かい報告をしていただいておりますが、本当に見た感じの印象というのが、帝国書院の方がいいというのが印象ですね。ですので、まあ東京書籍さんも決して悪くない、よくできた地図だと思うのですが、実際中学生が使うとなると帝国書院さんの方が使いやすいかなという風に。

○ 会長

はい。ありがとうございました。それでは、（審議も）終盤ですけれども、その他、どうですか。

○ 委員

（地図も）大きくなったのですね。このサイズだったかなと正直驚いています。まあ、地図なんで、大きい方が見やすいというのは当然あるのかなと思いますので、特にA4判でもいいのではないかなと思いました。それで、やっぱり地図としては、帝国書院の方が見やすいなというのと、（帝国書院は）地図活用というのが、結構な数あるので、単純に、授業の副教材で使うというところではなくても、個人の知識を深めるというところでは、そういうところを勉強していけるのではないのかなと思いました。東京書籍の方に吹き出しがあると言われていましたが、見てもそんなに数がないのだと思いました。数で言えば、帝国書院の方が断然多くて、（帝国書院の方が）考えてみようかなという気持ちになるかなと思いました。

○ 会長

はい。ありがとうございました。その他、どうですか。

○ 委員

はい。私も、帝国書院の方が、ぱっと見た印象で、すごく見やすいというのがあると思います。それと、帝国書院は、日本の同じ緯度・経度が表されているというのはすごくいいと思います。やっぱり何かを比較すると、その違いとかいろいろわかると思います。先ほど調査員の方からありましたけど、例えば、モンリオールと北海道は同じくらい（の緯度）なのに、気温が違うとかですね、そういうことって比較しやすいのかな、学びも吸収しやすいのかなという風に思いました。

○ 会長

ありがとうございました。それでは、今いただいた意見、最後にまとめていただきましたのがわかりやすかったのですけれども、それぞれの観点に沿って調査していただき、視点が本市の課題解決につながるということで、そういう意味では、帝国書院の方がよりふさわしい教科書。それから東京書籍の方がふさわしい教科書ということで答申するというところでよろしいでしょうか。

（「異議なし」）

○ 会長

はい。ご賛同いただき、ありがとうございます。それでは、本日の審議の結果をまとめまして、教育委員会に答申するというところでよろしいでしょうか。

（「異議なし」）

○ 会長

はい。ご賛同の声をいただいておりますけれども、広島市教科用図書採択審議会規則第6条に基づきまして、過半数で決するということになっておりますので、皆様挙手をお願いいたします。ご賛同の方はどうぞ挙手をお願いいたします。

（全員挙手）

○ 会長

はい。ありがとうございます。それでは全員に賛成の挙手をいただきましたので、可決いたしました。それでは、教育委員会から諮問されました教科書の調査研究について慎重に審議を行った結果を先ほど可決いただいたように答申します。以後は、会長の責任におきまして、事務局との間で答申の事務手続きを行いたいと思っておりますが、一任いただけますでしょうか。

（賛同の頷き）

○ 会長

はい。それでは、これで本日のすべての審議を終了いたします。委員の皆様のご協力、また事務局に丁寧に対応していただきましたおかげで、広島市の教科書採択について公正かつ適正に審議し、教育委員会の方へ答申することができそうです。委員の皆様、ご協力ありがとうございました。

○ 事務局

委員の皆様、ありがとうございました。最後に、指導第二課長より、ご挨拶させていただきます。

きます。

(課長挨拶)

○ 事務局

事務局から何点かご連絡させていただきます。

(事務局連絡)

○ 事務局

では、長時間になりましたが、以上でございます。これで、令和2年度第2回広島市教科用図書採択審議会を閉会いたします。ありがとうございました。

(全日程終了)